

# 暑中お見舞い 申し上げます



大崎町長 東 靖弘

**町** 民の皆様におかれましては、お元気で過ごしていることとお喜び申し上げます。

さて、今年は六月末から七月始めにかけて発生した西日本豪雨により、広い範囲で河川の氾濫や土砂災害などに巻き込まれ、二百名を超える方々がお亡くなりになりました。

また、住宅被害に遭われた方々は、住み慣れた住居を追われ、今もなお多くの方々が、厳しい条件下で、しかも不慣れた避難所生活を余儀なくされています。

お亡くなりになられた方々、ご遺族の方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、残された皆様の一刻も早い復旧をお祈りいたします。さて、本町においては今年も様々な動きがございます。

去る四月には鹿児島相互信用金庫、慶應義塾大学SFC（湘南藤沢キャンパス）研究所との間で「大崎町リサイクル未来創生プログラムの共同開発に関する連携協定」を締結しました。これは「リサイク

ル率11年連続日本一」の達成など、住民力の高さが評価されてこそ実現したものであり、「超地域密着経営」を行う鹿児島相互信用金庫、「未来を先導する実学と人材育成」を行ってきた慶應義塾大学SFC研究所との連携により、国際的に未来を先導する社会システム構築と人材育成を推進しようと考えています。

次に教育環境の整備でございます。

少子化による児童生徒数の減少は本町の将来にとって大きな懸案事項でございます。

そこで教育環境の改善を図ろうと環境省関連のカーボン・マネジメント強化事業（注1）等を導入し、全ての小中学校に空調設備と照明設備を整備いたします。これによりエアコンの設置率が全国平均を上回ることとなり、快適な教育環境が提供できると考えております。

また、これまで実施して参りましたマイホーム取得の際の補助金制度、住宅家賃の補助、高校生までの医療費無料化、学校給食費の引き下げ、

中学校入学時の援助金支給事業、こんには赤ちゃんギフト事業、ブックスタート事業など、引き続き子育て世帯向けの施策に力を入れております。

次に旧有明高校跡地に整備中の陸上競技トレーニンング拠点施設でございますが、「ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅」という日本を代表する壮大な名称に決定いたしました。2020年の東京五輪に向け、台湾陸上代表チームのホストタウンとして、また一流アスリートから一般の愛好者までが気軽に楽しめる体制づくりを進めてまいります。

さて先月、大崎町総合体育館におきまして社会福祉法人愛生会主催による「カブト虫相撲大会」が行われました。今年は第30回目という記念すべき節目の年でもあり、3千名超という多くの子どもたちと保護者の皆さんが県内外から参加されていました。

カブト虫相撲という本町の豊かな自然環境を有効に活用するという着想はもとより、

30年という長い間、本町観光PRの一翼を担っていただいた関係者の皆様のご尽力に感謝いたします。

さて今年も、連日厳しい暑さが続いております。埼玉県熊谷市では観測史上最高の41.1℃という想像しがたい気温が記録され、全国的に多くの方が熱中症と診断されるなど、心身に不調をきたす例も少なくありません。どうかお体には気を付けて健やかな日々をお過ごしください。また、ようお祈り申し上げます。あいなさつといたします。

平成三十年盛夏

大崎町長 東 靖弘

外職員一同

※注1カーボン・マネジメント強化事業とは……地球温暖化の原因といわれている二酸化炭素の削減を目的とした国の補助事業です。